

千里浜観光交流拠点施設指定管理者選定結果報告書

令和3年11月15日

千里浜観光交流拠点施設指定管理者選定委員会

1. 経過

1.1 概要

平成29年7月に開業した千里浜観光交流拠点施設（道の駅のと千里浜）の運営管理を担う法人として、市や商工会、JAはくい、県漁協、のと共栄信用金庫、興能信用金庫が出資をし、羽咋まちづくり株式会社を平成28年7月1日に設立した。令和4年3月末まで5年間の指定管理期間が終了するため、羽咋まちづくり株式会社に対し、非公募形式により申請書の提出を求めた結果、提出期限の令和3年11月5日に申請書類一式が提出されたことを受け、令和3年11月15日に千里浜観光交流拠点施設指定管理者選定委員会を開催し、提案内容が適正であるか審査を行った。

1.2 選定委員会委員

委員	山川 知則	はくい市観光協会会長
委員	佐々木 聡	千里浜町会総区長
委員	川口 哲治	羽咋市総務部長
委員	金山 幸富	羽咋市産業建設部長
委員	岡嶋 克己	羽咋市商工観光課長

1.3 経過

令和3年11月1日 指定管理者の募集

令和3年11月5日 指定管理者指定申請書提出締切

【申請者】

羽咋まちづくり株式会社 1社

選定審査委員会

令和3年11月15日選定委員会（プレゼンテーション及びヒアリングを実施）

千里浜観光交流拠点施設指定管理者選考要領に基づき、各選定委員は提出された申請書類及び資料を評価し選定審査評価書を作成。

選定委員会においては、各選定委員の評価を再確認し、最終的に選定委員の評価点の平均点により候補者として適正であると決定した。

2. 選定結果

候補者 羽咋まちづくり株式会社（平均点：70.85点）

3. 講評

今回は、申請者が1社であることから、運営における改善点や工夫点などを確認するとともに、今後の運営における創意工夫を引き出すよう提案内容について確認をした。

候補者からは、4年半で培った地域の生産者や加工業者とのつながりを大切にしながら、地元産品を核にした「ここにしかない」魅力ある自社商品の開発強化、道の駅を「羽咋・能登のインデックス」と位置づけ、事業収益向上を基に、地域に密着した取組みを展開していくことが提案された。特に、周辺施設との連携企画や自らが積極的に都市部等に催事出展し広報することで観光客の誘客を図る提案があった。

なお、各委員からは地元住民やお客様の声を大切にし、リピーターを増やす努力を怠らないことや、出品者を中心とした市内生産者や商業者との緊密な連携の維持・強化、情報発信施設としての機能充実、災害等有事の際の道の駅としての役割の確認と準備についてなど多岐にわたる要望伝達や質疑応答が行われた。

審査の結果、羽咋まちづくり株式会社を本施設の運営を委ねるに相応しい法人であると認められることから、指定管理者候補として適正と判断した。

4. その他

指定管理者の指定に際して、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経た後に、正式に指定管理者として指定される。

以上

千里浜観光交流拠点施設指定管理者選定委員会

委員 山川 知 則

委員 佐々 木 聰

委員 川口 哲 治

委員 金山 幸 富

委員 岡嶋 克 己